

都議選 2017

各党幹部に聞く②

——選挙で訴える重点施策、問われるものは

「屋内全面禁煙の受動喫煙の防止条例や幼児教育の無償化などを重点的に訴えるが、選挙では小池百合子知事の東京大改革、都政を変えようの姿勢が争点になると思う。公明党の結党理念は『大衆とともに』で、小池氏の『都民ファースト』と方向性は同じだ」

——市場移転問題は

「築地市場の業者が宙ぶらりんの状態。結論を早期に出すことが大切であり、争点にはならない。豊洲市場は科学的に安全とされており、小池氏が課題とする消費者の『安心』をクリアすればいいわけで、その説明をしっかりと行うことが必要なのではないか」

——小池都政を100点満点で評価すると

「85点。予算編成では、私立高校の無償化や女性視点に立った防災ブックの作成など公明党案を100%近く予算に反映してくれた。一方で東京五輪・パラリンピック問題や市場移転問題などで見えない部分もある。残り15点は決めかねている、期待感を持つ」

都民の意見を議会に反映

ネットワークの広さなど公明党の強みを強調する党都本部代表の高木陽介経済産業副大臣 15日、千代田区



公明党都本部 高木陽介代表

——ている部分だ」

——小池氏は公明との連携を強調している

「小池氏側から『一緒にやりたい』と要望があった。公

明は23区や市町全てに地方議

員がおり、小池氏は公明の現

場の声を吸い上げるネットワ

ーク、政策化の能力に信頼感

を持っている。都民ファース

トの会は地に足がついていな

い部分があり、都民の意見を

考える」

——議会に反映するのが公明だ」

——都議会では議会改革をめ

ぐり自民との協力関係を解消

した

「都議選で自民と選挙協力

を結んだのは3回しかなく、

選挙で戦っても都政では協力

してきた。選挙後、熟議を重

ねることに抵抗はなく是々非

々でやればよい。国政での自

公の関係は微動だにしないと